

地方への誘客方法の一つとして注目されているものに「ロケツーリズム」があります。ロケツーリズムとは、映画やドラマのロケ地を訪ね、風景を見たり食事をしたりする観光形態のことをいいます。映画やドラマなどの映像を通して地域の魅力を再発見するきっかけを作り、「ロケ地」を観光資源として活用することで国内外からの誘客を図ります。

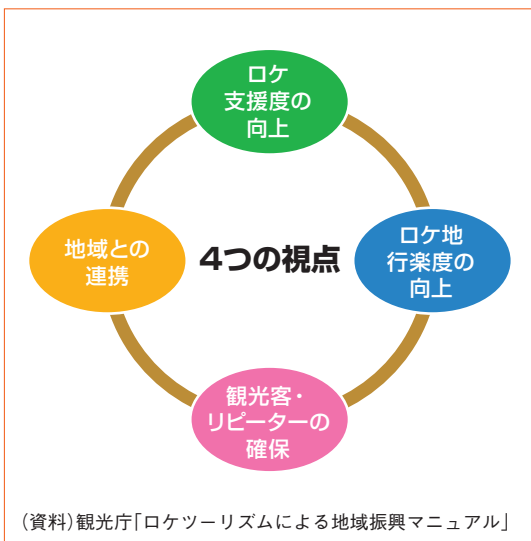
ロケツーリズムを効率的、効果的に推進するためには、①ロケ支援度の向上、②ロケ地行楽度の向上、③観光客・リピーターの確保、④地域との連携という4つの視点で取り組むことが望ましいとされています(図表1)。①のロケ支援度とは、ロケを行う製作者のニーズを把握し、撮影しやすい環境を作るなど、ロケの受入れ体制が整っているかの度合いです。ロケ支援度が高いほど、次回作の誘致や他の作品のロケ誘致につながることを期待できます。②のロケ地行楽度とは、実際の撮影現場などを記したロケ地マップの作成や、出演者が食した地元グルメの紹介をするなど、ロケ地訪問者がそこで楽しめるかの度合いです。ロケ地行楽度が高いほど、訪問客のロケ地周遊につながります。③は、ロケ地としての観光の盛り上がりを一過性にしないために、ロケ地を訪れた観光客によるロケ地情報以外の地域の魅力の発信や、積極的なロケの誘致により新たな観光客やリピーターを確保することです。④は、①から③を実現するために、ロケによる地域への効果などを伝え、地域の理解、協力を得ることです。

ロケを誘致し、実際のロケをスムーズに進めるためにフィルムコミッションという組織が全国にあり、三重県には11のフィルムコミッションがあります(図表2)。直近では、2018年9月に亀山市フィルムコミッションが発足するなど、県内各地でロケの誘致活動が行われています。三重県のフィルムコミッションでは、県内で撮影された映画のロケ地マップの作成のほか、県内外でロケ地や特産品を紹介するイベントを実施し、ロケ地への誘客促進を図っています。

ロケの誘致は、有名な景勝地などがなくても、ロケを誘致するたびに新たな観光資源を生み出すことができ、新たな層の観光客を呼び込むことができます。その結果、地域にとっては、経済効果がもたらされるだけでなく、地域ぐるみでロケに協力することによる一体感が生まれます。ロケツーリズムの広がりや、観光振興だけでなく、地域経済の活性化につながると考えられます。

三十三総研 調査部 研究員 伊藤 綾香

図表1 ロケツーリズム推進に必要な4つの視点



図表2 三重県内のフィルムコミッション

